

# 令和5年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立田無第四中学校

## ●全国学力学習状況調査(中学校第3学年)

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	漢字を書く(おし量って)	57.4	平均正答率80%と、東京都・全国の数値より上回った。特に、「語句の意味を適切に理解している」や、「目的に沿って自分の考えを書く」問題の正答率が高く、日頃の授業での取り組みが活かされ、成果として見られた。	①文脈に即して漢字を正しく書けていない②作品のどこがどのように工夫されているかについて、条件を満たしていない生徒が多い、の2点が課題として考えられる。漢字テストを継続して行い、根拠を明確にして考えるように指導していく。
	レポートの下書きの一部について、文の一部を直す意図として適切なものを選択する	65.1		
	現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く	65.1		
数学	女子50m自由形の記録の、最小の階級から29.00秒以上30.00秒未満の階級までの累積度数を求める	43.60%	B図形分野では、具体物を用いた授業のほかに、デジタル教科書等タブレットを利用して視覚的に図形を捉えながら学習を進め、習熟度別少人数授業で細やかな指導ができたことが大きな上昇の理由になっていると感じる。	4領域すべてで、全国の正答率を上回っている。領域ごとの偏りが大きくなりすぎないようにしたい。問題別では、左記のとおり、知識・技能に関する問題で、校内の正答率が50%を割っており、全国の正答率より低いものもある。
	空間における平面が1つに決まる場合について、正しい記述を選ぶ	44.60%		
英語	ある状況を描写する英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	83.1	平均正答率(全国)は、聞くこと67.9(58.4)、読むこと68.0(51.2)、話すこと19.0(12.4)、書くこと37.8(23.4)は全国の数値を上回っている。聞くこと、話すことはこれから対策していくことを予定している。	聞くこと話すことについては今後自主学習課題を与え、学習意欲を高めていく予定である。
	買物の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	55.4		